

社会学研究科

○ディプロマポリシー

修士課程

社会学分野における幅広くかつ深い学力を備え、問題発見・問題解決の能力を持ち、行政機関、研究機関、企業、NPO・NGOなどで、専門実務家、専門調査士として社会に貢献できる人材、さらに博士後期課程に進学して研究者を目指すのに必要な資質・能力を持つ人材の養成を目的としています。2年以上在籍し、本研究科開講科目及び単位互換制度科目を含めて合計32単位以上を修得し、修士論文の審査に合格した者に修士（社会学）の学位が授与されます。修士論文は、高度専門人として活躍できる能力を示すことが求められます。もしくは、研究者を目指して博士後期課程に進学するのに必要な幅広い学識、問題解決能力を示すことが求められます。修士論文は、（1）問題設定の明確さ・妥当性、（2）研究分野に関する知識、（3）研究の方法、（4）論旨の明確さ、（5）文章の明瞭さなどが満たされていることが求められます。

博士後期課程

社会学分野における研究者、官民諸団体における調査・企画立案のできる専門家養成を目的としている。3年以上在籍し20単位以上を修得し、博士論文の審査及び最終試験に合格するものに博士（社会学）の学位が授与されます。博士論文は、（1）論文の独創性、（2）研究テーマ、問題設定の学問的・社会的意義の適切性、（3）先行研究の綿密な渉猟、（4）方法論の理論的研究と実証的調査および分析、（5）論理・主張の統一性と一貫性、（6）形式的な要件、が満たされていることが求められます。

○カリキュラム・ポリシー

社会学研究科は、その教育目標に基づき以下のようなカリキュラムを編成しています。（1）専門的な知識と方法論を体系的に学ぶために、基礎科目、専門科目、そして演習科目を設置しています。基礎科目には、「社会学理論特論」と「社会史特論」、専門科目には「産業社会学特論」、「心理療法・心理援助特論」、「観光社会学特論」など15講座が体系的に設置されています。

（2）身につけた知識や技術を援用して、現代社会の問題の解決と新たな価値の創造につなげていく能力を養うために演習科目を必修として、個別指導を行っています。

（3）人材養成プログラムとして、「公務員・企業での専門実務家を志望する者」「社会問題や心理問題に対処しうる教育的実践者を志望する者」「観光産業や情報産業における専門家を志望する者」、そして「研究者を志望する者」の4つを履修モデルとして設置し、履修者の便宜を図っています。